

図画工作科学学習指導略案

2年3組 30名 指導者 福島 光 二

1 題 材 色と形のファンタジー（造形遊び）

2 指導計画（総時数4時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
思いをもつ	1 参考作品を見て、光を利用して色と形を楽しむ作品をつくることを知る。 2 学習のめあてをとらえる。 色と形をくふうしてファンタジーな世界を味わおう。 【関：いろいろな形を切り抜いたり、形を見立てたりする活動を楽しもうとしている。】 暗幕で教室全体を暗くし、光で映し出された形や色を楽しめる環境を準備することで、子どもたちが体全体でその美しさを味わえるようにする。	0.5 (本時)
思いをふくらませる	3 カッターナイフの正しい使い方を知り、切り抜いた形を見立てる活動を楽しむ。 【想：形や色の楽しさや面白さについて考えている。】 安全面には特に配慮し、カッターナイフの持ち方や使い方について、ワークシートを活用して指導する。	0.5 (本時)
思いを表現する／自他のよさに気付く	4 光を通して色を表す面白さに気付き、気に入った形や色になるように試しながらつくる。 【技：映す形の切り方や色の並べ方を工夫している。】 形や色の工夫をしている子どもを称賛し、工夫したいという思いを高める。 5 表現の途中で、お互いの作品を鑑賞し合い、自分の作品に生かす。 【鑑：いろいろな場所で光を通し、その美しさを感じている。】 お互いの作品を形や色の視点から認め合える温かい雰囲気をつくる。	2.5
新たな思いをもつ	6 いろいろな場所で日光を通して友達と話し合い、映った形や色の面白さに気付く。 【鑑：いろいろな場所で光を通し、その美しさを感じている。】 映したい場所や映し方について子どもたちに考えさせ、作品の見せ方も工夫できるようにする。	0.5

3 本 時（1/4）

(1) 目 標

カッターナイフの正しい使い方を身に付けさせるとともに、切り抜いた形の面白さを楽しむことができるようにする。

(2) 評価規準

- いろいろな形を切り抜いたり、形を見立てたりする活動を楽しもうとしている。【造形への関心・意欲・態度】
- 形や色の楽しさや面白さについて考えている。【発想や構想の能力】

(3) 指導に当たって

これまでに、子どもたちは、用具と出合い、その用具に慣れることで表現することの楽しさを広げてきた。この題材でも、カッターナイフの扱い方に慣れることで、表現することの楽しさを広げてほしいと考える。さらに、共通事項にも「形や色などを基に自分のイメージをもつこと」と示されているように、形や色を意識してお互いの作品を鑑賞し合うことで、子どものイメージをどんどん膨らませ、新たな思いやイメージを広げさせたり、深めさせたりしたい。

思いをもつ過程では、暗幕で暗くした教室の中で、OHPを利用していろいろな模様に切り抜かれた形を映し出し、形に対しての興味を高め、カッターナイフを用いて形を切り抜きたいという意欲を高める。また、カラーセロハンを組み合わせることで色が変化する楽しさを感じさせたり、色と形を組み合わせられてつくられた作品を紹介したりすることで、ファンタジーな世界を味わせる。その後、題材名ボードを提示し、活動の見通しを読み取らせる。

思いをふくらませる過程では、ファンタジーな世界をつくるために、いろいろな形を切り抜きたいという思いをもたせるようにする。また、思うように切れなかった例も示し、子どもの心情に配慮しながら、正しく安全なカッターナイフの扱い方を身に付けたいという思いをもたせる。

思いを表現する／自他のよさに気付く過程では、正しく安全なカッターナイフの使い方の指導をした後、ワークシートを活用していくつかの形を切り抜く練習をさせる。その際、3名の学校支援ボランティアの方々に協力をいただき、安全に活動できるようにする。安全に気を付けながら正しく切り抜いている子どもの切り方を書画カメラを活用して紹介し、そのよさを全体に広げる。また、きれいに切ることのできない子どもがいた場合、書画カメラを活用して、みんなでその原因を考えることで、正しい切り方を再確認させる。また、切り抜かれた作品で見立てる活動も楽しみ、形に対する思いやイメージをどんどん膨らませることができるようにする。

新たな思いをもつ過程では、自由に切り抜いた友達の作品を紹介したり、その作品に色画用紙を組み合わせたりして、今後の活動への意欲を高める。また、自分が工夫したことと友達の作品のよさや頑張ったことについて話し合い、お互いに認め合う関係をさらに深めることができるようにする。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識

○ 指導・手だて

※ 評価

時	過程	主な学習活動と学習形態・教師の手立て・評価
6	思いをもつ	<p>1 映し出されたいろいろな模様の形や色の美しさを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うわあ。すごい。夢のようだ。 ・きれいな色だな。 ・あの形かっこいいな。
6	思いをふくらませる	<p>2 本時の学習のめあてをとらえる。</p> <p>カッターナイフの使い方を工夫して色と形を楽しもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はやくつくりたいな。 ・どんな世界になるのか楽しみだな。 <p>3 思うように形が切り抜けなかった作品を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カッターナイフの使い方って難しいな。 ・こわいけどできるようにになりたいな。 ・練習しないとイケないな。
23	思いを表現する／自他のよさに気付く	<p>4 正しく安全なカッターナイフの使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刃は出し過ぎてはいけないね。 ・鉛筆を持つように持てばいいね。 ・手の置き方に気を付けよう。 ・曲がった線は紙を回しながら切ればいいんだね。 <p>5 ワークシートを使って切り抜く練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力の出し方に気を付けよう。 ・力を入れ過ぎたらいけないな。 ・何度もなぞって切れればいいね。 ・切り過ぎないように気を付けなといけないな。 ・すうっと切れて気持ちがいいな。 ・カッターナイフって、便利なものなんだな。 ・この形はワニの口みたいだね。 ・ひっくり返すと、波のようにも見えるよ。 ・もっといろんな形を切ってみよう。 ・○○くんの形みたいに切りたいな。
10	新たな思いをもつ	<p>6 映し出された友達の作品の形の美しさや面白さを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手に切れているな。 ・なるほど。そんな見立てもあるな。 ・僕もあんな色づかいで作品をつくりたいな。 <p>7 本時の学習を振り返り、自分の工夫したことや友達の頑張ったことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、カッターナイフの持ち方に気を付けて切りました。 ・○○くんの形の見立てがとても面白かったです。 ・学校支援ボランティアの方のおかげで、安全に上手に切ることができました。

↑ 暗幕で暗くした教室で、いろいろな模様で切り抜かれた形をOHPを用いて拡大し、作品のよさが伝わるよう効果的に演出する。

↑ ファンタジーな世界をつくりたいという目標をはっきりさせ、そのためどのような活動をしていけばいいかを考えさせる。

↑ いろいろな形に切り抜かれた作品を見せ、形の見立てを楽しませるとともに、カッターナイフの便利さに気付かせる。

↑ カッターナイフの扱い方がうまくできていない例も、子どもの心情に配慮しながら見せて、正しく安全な使い方ができるようにになりたいという意欲をもたせる。

↑ カッターマットの使い方、刃の出し方、カッターナイフの持ち方、支える手の位置や切り方など、実際に切る動作をまねさせることで正しい使い方の技能を確実に習得させる。

↑ きれいに切ることができた子どもがいたら、書画カメラを活用してみんなでそのよさを考え、正しい切り方を確認して進めていく。

※ いろいろな形を切り抜いたり、形を見立てたりする活動を楽しもうとしている。
【ワークシート・活動】

- 正しい切り方ができた子どもには、見立てを楽しんだり、自分で新たな形をつくったりするように伝える。
- 活動が停滞している子どもには、学校支援ボランティアの協力も頂きながら、紙の動かし方、手の置き方、力を入れ方などを確認し、一緒に活動する。

↑ 友達の作品を紹介し、形の見立てを楽しんだり、色画用紙を組み合わせさせて色を工夫したりしてその後の活動への意欲を高める。

↑ 活動を振り返らせることで、工夫できたところやこれから工夫したいところ、友達の頑張りなどに気付かせ、お互いに認め合う関係を深める。

↑ 学校支援ボランティアの方々のおかげで安全に正しくカッターナイフが使えるようになったことにも気付かせ、感謝の気持ちをもたせる。